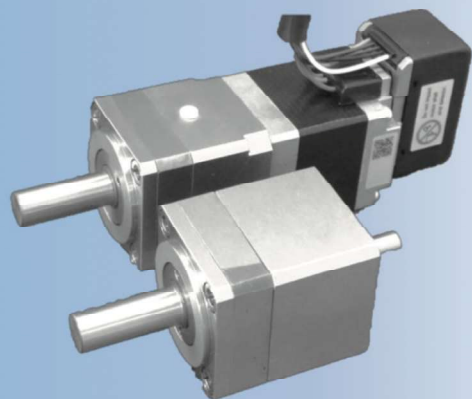
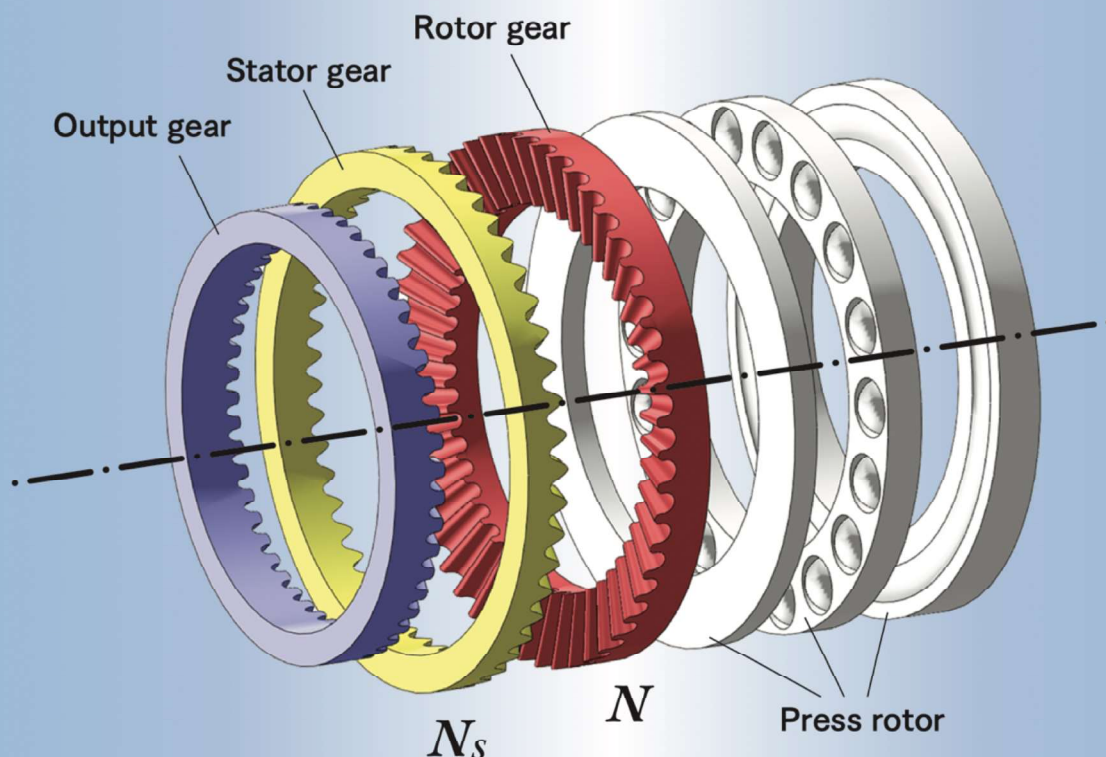


今までにない減速機

小さい

頑丈



- ✓ 力が必要なところに
- ✓ 衝撃が掛かるところに
- ✓ 装置の小型化に



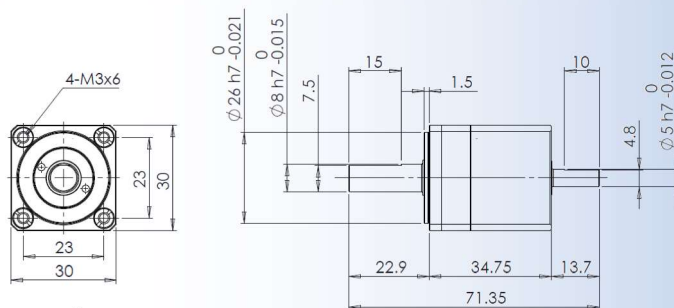
μ Lab. 株式会社 ミューラボ
amazing innovations for the future.

μ dynamics®
Reducer γ

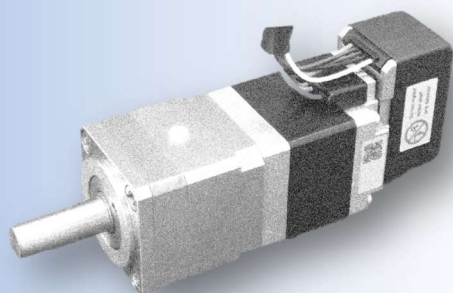
CRGS30-050FDD (両軸タイプ)



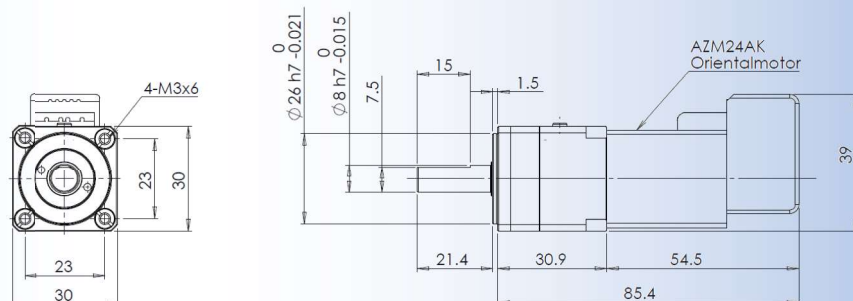
外形寸法図



CRGS30-050FDM1 (モーター一体タイプ)



外形寸法図



仕様

モデル名		CRGS30-050FDD	CRGS30-050FDM1
外形	全長	71.4 mm	108.3 mm
	ギヤ部長	36.3 mm	32.4 mm
	減速機部径	□ 30 mm	□ 30 mm
	重量	200 g	315 g
性能	減速比	50 : 1	
	定格トルク	1.8 Nm	
	起動トルク	13 mNm	
	最大バックラッシュ量	0.25 °	
	角度伝達誤差	0.25 °	
	静的破壊トルク	45 Nm	
	最大許容入力回転数	3500 rpm	
効率(※)		52%	

※30Wサーボモータに最適です

仕様表の用語

起動トルク	入力軸にトルクを加えた時、出力側(低速側)が回転を始める瞬間の「起動開始トルク」を言います。
最大バックラッシュ量	歯車をかみ合わせた時の歯面間の遊び、またはすき間のことです。
角度伝達誤差	任意の回転角を入力に与えた時の、理論上回転する出力の回転角度と、実際に回転した出力の回転角度との差を言います。
静的破壊トルク	出力軸が固定された状態で、入力軸に過度なトルクが掛かった時、クラウン歯車が変形を起こし、やがて周辺部品などを破損してしまうトルクを言います。
効率(※)	入力軸へ与えたトルクを増幅する時の効率です。(使用条件により異なりますので参考値としてご使用ください)

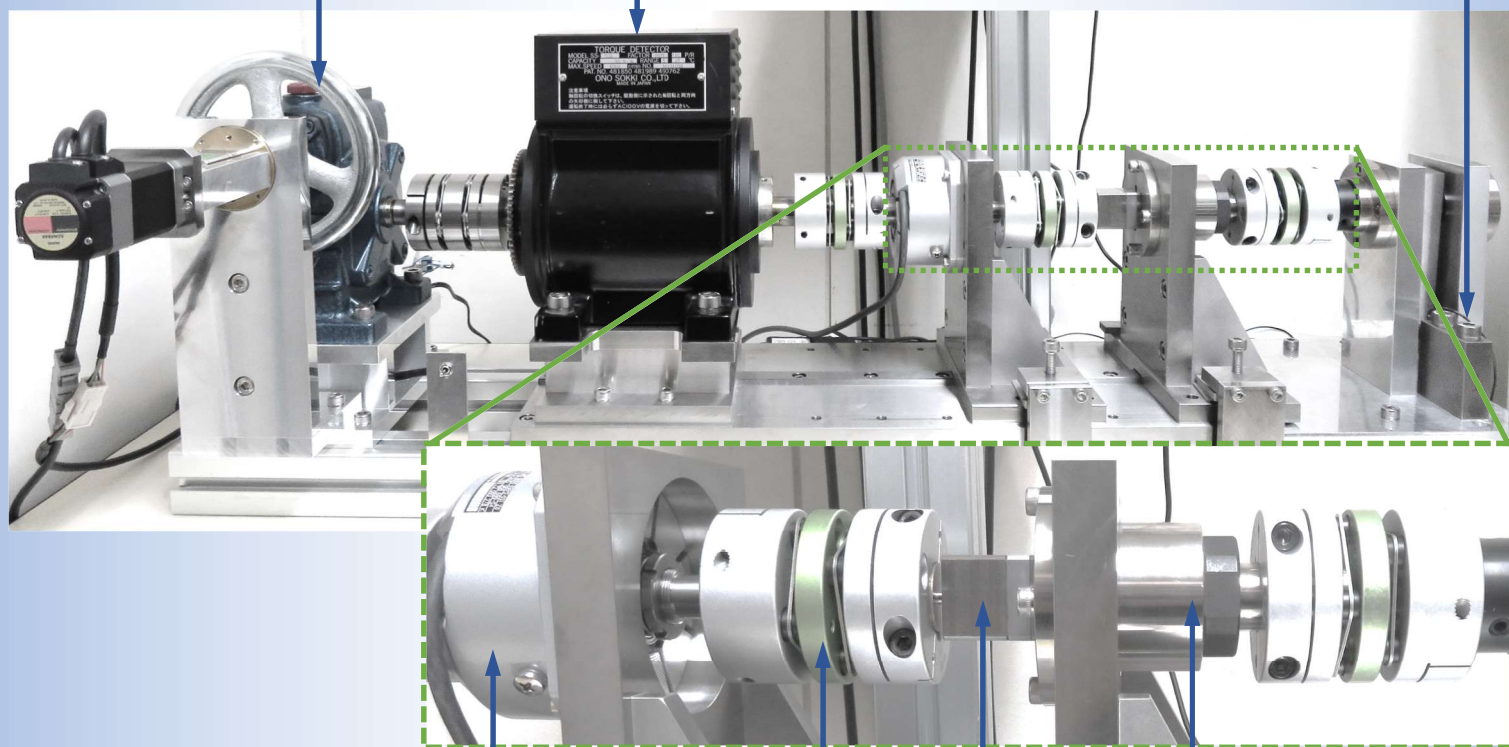
【頑丈さ】の証明

CRGS30-050FDD (両軸タイプ) 静的破壊トルク測定シーン

入力側の回転機構

入力側のトルク検出
(Max:50 Nm)

発生力検出
・ロードセル(Max:1kN)
・アーム長 100mm



入力側の回転角検出

入力側

減速機

出力側

◆ CRGS30-050FDD



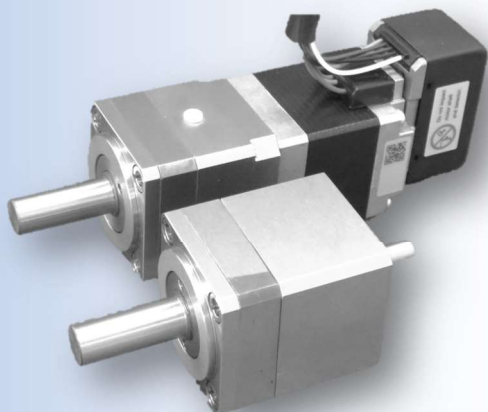
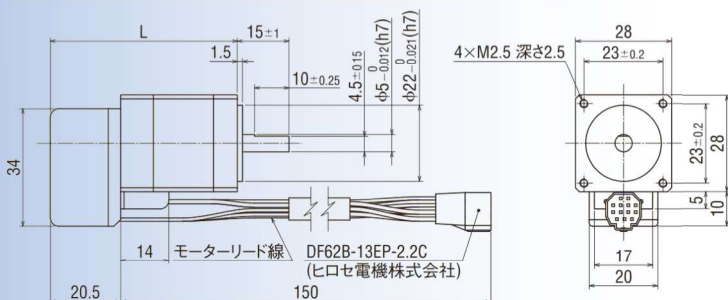
図：高負荷トルク寿命試験データ

※プロットは2021年5月時点の情報であり
継続して対象(N数)を追加しています。

モータ外形寸法

取付角寸法 28mm

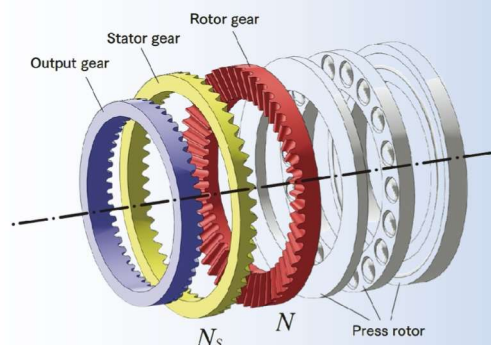
品名	L	質量 kg
AZM24AK	54.5	0.15
AZM26AK	74	0.24



【クラウン減速機の特長】

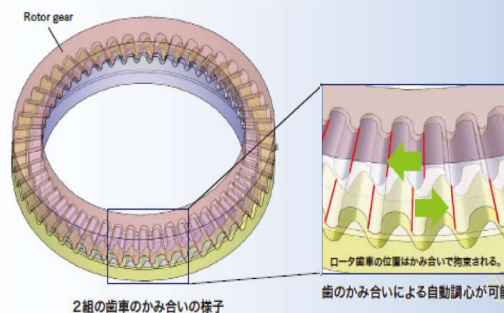
■シンプルな歯車構造

ロータ歯車、ステータ歯車、アウトプット歯車の3つの歯車で構成され、ロータ歯車を、他の2つの歯車で挟み込むように接触します。



■噛み合う歯数が多い

上記の構造で回転軸方向に噛み合う歯車は、一度に全体の歯数の25%の歯が噛み合いながら歳差運動を行うため、入力トルクに対する耐久性を高める効果も有しています。更に、当社の実験結果から、他の減速機構に比べ、高負荷入力に耐える力が格段に大きくなっています。



安全に関するご注意

- このカタログに掲載している製品は産業用および機器組み込み用です。その他の用途には使用しないでください。

- このカタログに掲載している製品の性能および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

株式会社ミューラボ

〒960-1296

福島県福島市金谷川1番地 福島大学

ベンチャー・インキュベーション・ルーム407室

TEL:024-563-7181

FAX:024-563-7625

URL:<https://mu-lab.com>



μ Lab.
amazing innovations for the future.



2021年5月製作

このカタログの記載内容は2021年5月現在のものです。

ミューラボホームページへ